

身近な植物による食中毒に注意しましょう

Q子：博士～！ぽかぽか暖かくなってきましたね。春といえば…。

ほろ苦くておいしい、山菜！！山菜の天ぷらが食べたくなってきました。

博士：そうそう。山菜といえば春を感じる旬の食べ物じゃけれど、山菜と間違えて有毒植物を採ってきて食べて食中毒になることがある。知っているかな？

Q子：えっ!?? 食中毒ですか…。なんだか怖くなってきました。

博士：自然に生えている植物を何でも採って食べていいわけではないんじゃ。

Q子：勉強が必要な気がしてきました。

博士：では、まずは勉強じゃ。



Q子。助手。
いつも前向き。



ネコ。
しゃべれる。



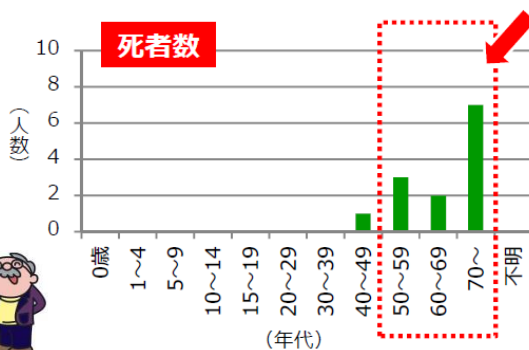
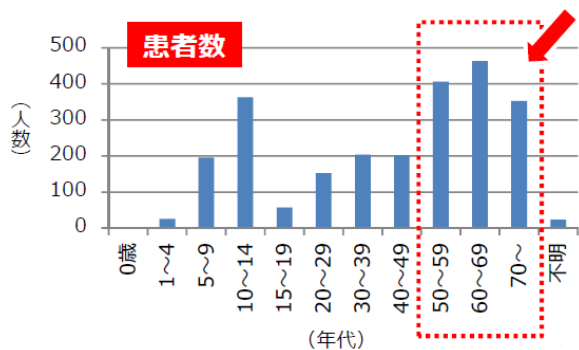
博士。
マイペース型。

年代別にみた有毒植物における食中毒

博士：有毒植物を山菜などと間違えて食べて、死亡する事例が平成27年度には2件、平成28年には4件発生し6名が死亡している。そのすべてが60歳以上だったんじゃ。

Q子：えっ!?? そんなに！！

年代別にみた有毒植物による食中毒患者数・死者数(平成18年～平成27年)



参考：厚生労働省リーフレット「おじいちゃん、おばあちゃん食べないで！それ有毒植物ですよ」

岐阜県で発生した事例

博士：岐阜県でもこんな事例があるんじゃよ。

事例1：ハシドコロによる食中毒(平成28年4月)

山林に生えていたハシドコロを食用と間違えて採取し、調理し食べたところ、けいれん、意識障害などの症状を呈した(2名：70歳代男女)。

本州から四国、九州のやや湿り気のある沢治いなどに自生しています。新芽をフキノトウやタラの芽などの山菜と間違えることがあります。

中毒症状

1～2時間で発症

嘔吐、けいれん、意識障害など

「天然、自然＝安全」
ではないんですね！



勉強になる
ニヤ～



事例2：イヌサフランによる食中毒(平成28年5月)

生産者がギョウジャニンニクと誤ってイヌサフランを出荷し、これを販売所で購入した人が自宅で調理し食べたところ、下痢や嘔吐の症状を呈した(1名：50歳代男性)。

園芸植物として広く植えられています。葉は「ギョウジャニンニク」「ギボウシ」球根は「ジャガイモ」「タマネギ」と間違えることがあります。

中毒症状

重症の場合は死亡することも

嘔吐、下痢、呼吸困難

有毒植物による食中毒は全国で毎年発生しているんじゃ。4月、5月に多く発生しているぞ。



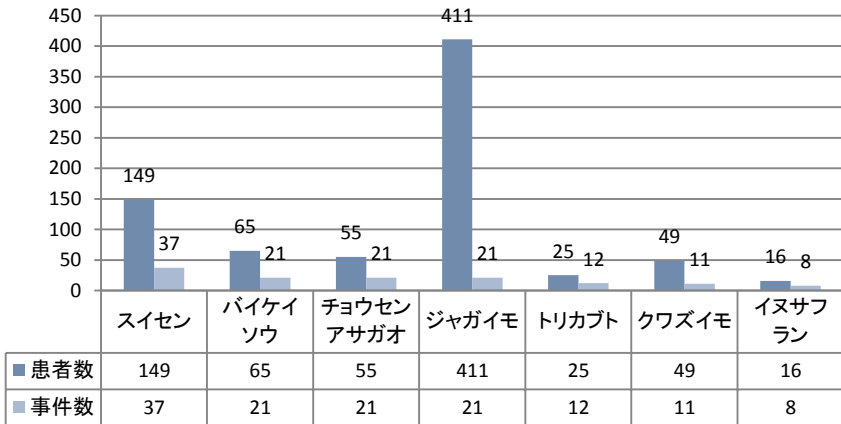
有毒植物別食中毒発生状況



博士：ほかにも有毒植物による食中毒がこんなにも発生しているんじゃないよ。

Q子：そうなんですか！身近なところに生えているものだけではなく、食用でも注意が必要なものもありそうですね。

有毒植物による食中毒発生状況(平成18年～27年)



参考：厚生労働省ホームページ

身近な食材でも調理方法など注意をする必要があるニャ〜

例えば、身近な食材のジャガイモは、発芽部分や皮付近（特に緑色の部分）に毒素が多い。



調理をするときには、

- ・皮をていねいにむく（緑色の皮は厚めにむく）
- ・特に芽の部分をきれいに取る

気を付ければ簡単だニャ〜



有毒植物による食中毒防止



採らない！ 食べない！ 売らない！ 人にあげない！

絶対に

家庭菜園での注意点

ポイント1 食用の植物を植えましょう！

- 食べることを目的とする場合、食用の植物かよく確認して植えましょう。

ポイント2 食用植物は観賞用と区分けして植えましょう！

- 家庭菜園や畑などで、野菜と観賞植物を一緒に栽培することはやめましょう。

ポイント3 植えた覚えのない植物を食べることはやめましょう！

- 食用の植物だと思っても、植えた覚えのない植物を食べることはやめましょう。
- 食用の植物の近くに見た目が似た植物が生える場合もあるため、植物を採取する際には、食用のみを植えしていると過信せずよく確認して採取しましょう。



野草・山菜を採る際の注意点

ポイント1 確実に食用と判断できないものは、採らないようにしましょう！

- 食用と確実に分かる植物以外は、絶対に採らないようにしましょう。
- 山菜に混じて有毒植物が生えていることもあります。山菜採りなどをするときには、一本一本よく確認して採り、調理前にもう一度確認しましょう。

ポイント2 食べられるか自信がないものは、食べるのをやめましょう！

- 有毒植物には、食用の植物と名前や見た目がよく似ているものがあるため、確実に食用だと自信が持てないものは食べるのをやめましょう。

ポイント3 売らない、人にあげないようにしましょう！

- 安全に食べることができることが確かな植物以外は、売らない、人にあげないようにしましょう。



最後までお読みいただきありがとうございました。

植物を食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を受けることじゃ。食べた植物が残っている場合は、受診のときに持っていきとよいぞ。

